



### 【参加された方からの感想】

- 探究学習に力を入れている学校ならではの、生徒主体の授業。先生が教室の前で説明する授業ではなく、生徒が考え対話をしていく。この型ができていくことがICTを有効活用する大前提だと思います。そういった授業を公開し、多くの先生方に見て頂くことの意味はとても大きいと思います。(ICT支援員の先生)
- 実際に授業での活用する姿を見ることで、タブレットを使用することのよさや、生徒の反応を肌で感じることができて、「この場面ではジャムボードが使えそう」というような具体的な場面での活用法を考えることができました。自分だけではなく、学校全体で活用を促進させていこうという気持ちになりました。(中学校の先生)

## ICTを効果的に活用した授業公開オンライン開催

○1月21日(金) 国語と数学の授業をオンラインで公開しました。国語では、シンキングツールによって友と考えを共有しやすく、より深くまで考えることができました。数学では、端末の活用で作図が容易になり、多くの図形に触れることができたため、考え方のコツを皆で追究することができました。どちらも、端末を活用することで考えを深める時間を生み出すことができたことは、大きな収穫でした。また、3つの映像(全体・班・生徒画面)をMeetで配信することで、授業公開を中止にせず開催することができました。



## 自分の力を、内から外へ ～屋代附属中TOPICS!～



### 生徒会選挙が行われました

○2月末で生徒会が3年生から2年生に引き継がれます。それに向けて立会演説会と選挙が行われました。スローガン「協働」を姿で示してくれた3年生、引き継ぐ自覚が見えてきた1、2年生。「選挙」で選ぶことは「痛み」を伴います。選挙を通して、痛みを受け止める逞しさと、仲間の痛みを寄り添える他者意識を身に付け、ひとまわり大きく成長してほしいと願っています。

オンラインで、アメリカ在住の1期生の水出さんと、九州大学在学の4期生の五井野さんにお話し頂きました。水出さんは、「自分に対しての情報を集め、失敗を恐れずに自分のしたいことに取り組んでほしい」、五井野さんは、「好きなものを追いかける。極めれば特技になる」というお話をしてくださいました。お二人とも自分自身に素直に向き合い、自分を突き動かすエネルギーを生み出している姿が印象的でした。将来へのルールがなければ、自分でつくる…。まさに屋代附属中が求めている一つの姿ではないかと感じました。

## 開校10周年記念事業 先輩の話を聞く会1/6(木)

